

2026年5月15日

〈京急百貨店・ウイング上大岡 開店30周年記念展示〉 横浜スカーフ物語



関東学院大学との産学連携、貴重なデザイン画とともに横浜スカーフの歴史と魅力を伝える

京急グループの株式会社京急百貨店（本社：横浜市港南区，社長：島田 良亮，以下 京急百貨店）および、関東学院大学（本部：横浜市金沢区，学長：小山 巖也）は、2026年5月21日（木）から6月10日（水）まで、横浜開港記念にあわせて京急百貨店の館内にて開催する「YOKOHAMA フェア」の一環として、「横浜スカーフ物語」を開催いたします。

本企画は、関東学院大学との産学連携により実施するもので、かつて大岡川沿いに横浜スカーフの捺染工場が建ち並んでいた上大岡の歴史に着目し、その捺染文化とともに育まれた横浜スカーフの歩みと魅力を伝える展示企画です。

関東学院大学が所蔵する約1,200点に及ぶ貴重なスカーフデザイン画の中から選りすぐりの作品を紹介するとともに、同大学経営学部による「K-biz 横浜スカーフプロジェクト」で提案された企画を具現化し、次世代への文化継承に取り組みます。

さらに、横浜市歴史博物館の協力のもと、現在同館に所蔵されている約11万点の横浜輸出スカーフ資料の中から、スカーフを特別に展示いたします。戦後の世相や暮らしを映し、文化史や社会史などの観点から学術的にも興味深い意匠をご覧ください。

京急百貨店は、開店30周年を機に、本企画を通して上大岡の文化を次世代へ継承することで、街の魅力を発信してまいります。

スカーフとデザイン画の例：



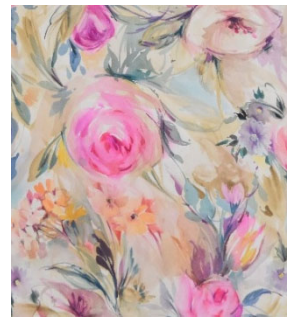
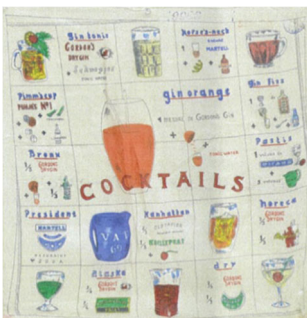
◆◆『横浜スカーフ物語』について◆◆

1. 京急百貨店・ウイング上大岡 開店 30 周年記念展示『横浜スカーフ物語』

上大岡に流れる大岡川でかつて栄えた捺染文化に着目し、横浜スカーフの歴史と魅力を紹介します。本企画は産学連携として、関東学院大学と共催し、同大学所蔵のデザイン画をはじめ、横浜市歴史博物館の協力による輸出スカーフなど、横浜スカーフの歩みと多様な意匠の数々をご覧いただける展示企画です。

日 時 2026年5月21日（木）～6月10日（水）
場 所 京急百貨店・ウイング上大岡3階連絡通路
共 催 関東学院大学
協 力 横浜市歴史博物館
観 覧 無料

スカーフとデザイン画の例：

2. 「横浜スカーフオリジナルタンブラー」販売

販売日 5月21日（木）～6月10日（水）
販売場所 京急百貨店6階【スターバックスコーヒー】
種類 横浜スカーフ柄3種
価格 各1,800円（税込）
限定数 各柄30点



マイスターバックスタンプラーに、横浜スカーフ柄の台紙をつけて限定販売します。

3. イベント情報

「関東学院大学 学生によるトークショー」

日 時 5月24日（日）15:00～16:00

場 所 京急百貨店・ウイング上大岡3階連絡通路

「KGU 乾杯プロジェクト」により生まれた関東学院大学のクラフトビールのラベルをデザインした学生や経営学部「K-biz 横浜スカーフプロジェクト」に関わった卒業生による、トークショーを開催します。

※「KGU 乾杯プロジェクト」とは、国際文化学部、経営学部、理工学部、建築・環境学部、人間共生学部の学生、教員が参画している学部横断型クラフトビール作成プロジェクトです。クラフトビール醸造会社である株式会社スイベルアンドノットの協力のもと、ホップ栽培を開始し、昨年12月には古代メソポタミアで作られていたビールをモチーフにした「KGU シュメール」、今年3月には華やかさの中にきりっとした苦みを感じる「KGU エール」の2種類のクラフトビールが完成しました。

※「K-biz 横浜スカーフプロジェクト」とは、経営学部の教育プロジェクトで、関東学院大学所蔵の横浜スカーフデザイン画の利活用を進めることを目的としています。

4. 関東学院大学の取り組み（社会連携教育）

関東学院大学の「社会連携教育」は、自ら問いを立て、視点や価値観の異なる人々と協働し、社会課題の解決に取り組む人材を育成することを目指す教育課程の総称です。「越境し協働する大学」というコンセプトのもと、現場と教室を往還しながら学びを深めるというプロセスを重視しています。この教育を通じて、学生は「課題を発見する力」、「情報を整理し解決策を導く力」、「多様な人々と協働できる力」を身につけていきます。



以 上